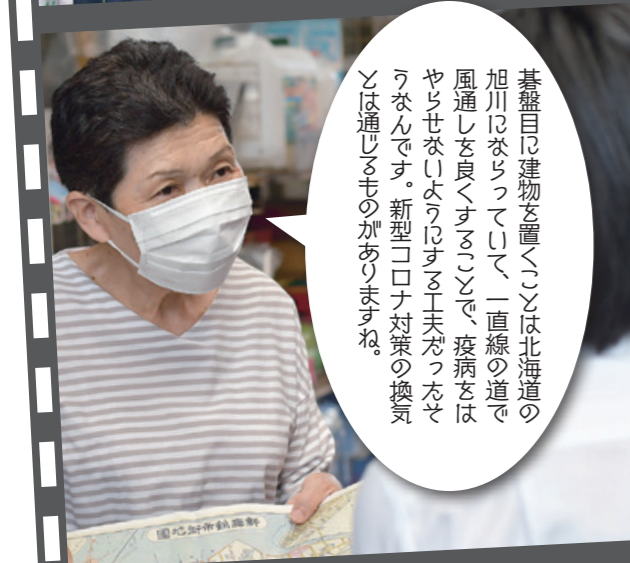




伊庭さん なんて東舞鶴のま  
ちは寺れいな甚盤目なの？



甚盤目に建物を書くことは北海道の  
旭川に於いて、一直線の道で  
風通しを良くすることで、疫病をは  
やせせたいようにする工夫だったそ  
うなんです。新型コロナ対策の換気  
とは通じるものがありますね。



海軍の知恵が今も  
残っているんだ~!

スマホを使って古地図を見ながらまち歩きができる「京都舞鶴  
まち探検マップ」を作成。また、海  
軍舞鶴鎮守府開庁120年を記  
念して軍艦通りデジタルスタン  
プラリーを開催。古地図アプリ  
「Lambula map(アンブラマップ)」  
をインストールして、明治時代か  
ら昭和初期の舞鶴にタイムスリッ  
プ。まちを歩くことで歴史と潮風  
を感じることができる。



### まち探検アプリで 舞鶴市をタイムスリッ プ



鎮守府の頃から  
あるお店



▲西村紙油商事(上)丸二金物(下)



▲松榮館



【特集】海軍舞鶴鎮守府  
開庁120年

## 今も息づく ハイカラ文化

### あちこちに残る海軍の知恵

海軍は、海外から軍事技術だけでなく、最新の技術やさまざまな文化を取り入れた。その一つが洋食。明治時代の海軍では、長期の海上生活でビタミンB1の欠乏で起きる脚気(かっけ)を発症し、亡くなる乗組員がたかさんいた。そこで、食事に洋食を取り入れ、バランス良く栄養を摂ることで脚気の予防に成功した。また、イギリス海軍で食べられていたカレーや舞鶴鎮守府初代司令長官の東郷平八郎がビーフシチューをもとに作らせたといわれる肉じゃがなど、海軍食は単に洋食を取り入れるだけでなく、日本人の口に合うようにアレンジすることで、全国に普及していった。

勇貴堂で栗饅頭を食べる生徒たち



松榮館 マネージャー  
阿波 伸幸さん

松榮館は、鎮守府開庁の3年後に建っています。海兵さんによく利用してもらい、司令長官の東郷さんも利用されたそうです。館は代々引き継がれ、玄関にある鏡は当時から同じものを使い、117年間、たくさんの方の姿を映してきたと考えると感慨深いです。最近ではレストランとして使われるほか、景観を生かして展示会や和装・七五三、若い人のコスプレイベント会場としても使われます。外国の人が来られたら、何枚も写真を撮られ、日本っぽい建物と庭園に感動されます。

7月はウスベキスタンの柔道選手団が朝食やミーティングの会場に利用。精一杯もてなしをして、見送った選手の中から銅メダリストも出たのでうれしいです。

コロナで気持ちも沈みがちですが、近代化で勢いのある時代につくられた館のパワーを感じて持ち帰り、明るい気持ちになっただけならいいですね。



丸二金物(有)  
伊庭 節子さん

市内に「市場」という地名がありますが、そこは鎮守府ができる前、東舞鶴の中心で、市場として栄えていました。現在の東の商店街付近には西とつく名字の人が多く、その市場の西側にいたからだそうです。鎮守府開庁後は、東舞鶴の市街地は軍港として栄え、敷島や八島など軍艦名の通りで親しまれました。甚盤目の都市計画は日本の20世紀遺産20選の一つにもなっています。

当時、東舞鶴の市街地はにぎやかで、お店を出すことは商人の憧れでもありました。そんな風潮から私の祖父も現在の場所に店を開き、今年でちょうど100年になります。近辺には古くから続くお店も多く、和菓子の勇貴堂や相談薬局のヒロベ薬局は鎮守府より先輩です。中でも、勇貴堂の栗饅頭(うまがもち)は舞鶴鎮守府初代司令長官の東郷平八郎も好んで食べたと言われています。